

評価項目一覧 ～提案要求事項一覧～ 【事業名：令和元年度法務省委託事業「ハンセン病に関する『親と子のシンポジウム』静岡会場」における採録記事及び法務省の人権擁護機関等の広報の企画・制作・掲載】

<別紙>

No.	項目	評価区分	価格同等評価できる項目	価格同等評価できない項目	評価基準 / 配点			得点配分			
					基礎点	点	加点	点	合計	基礎点	加点
1. 事業の目的、内容等											
共通	1-01: 規格、仕様、目的	必須	○		●仕様書上の趣旨が適切に反映されている。	5	●仕様書の「2. 目的」の趣旨を踏まえ、採録記事と人権啓発広報を組み合わせるメリットが活かされるよう、工夫されている。	20	25	5	20
					—		●仕様書の「3. 訴求対象」に効果的な広報が実施できるよう、工夫されている。	20	20	0	20
				●著作権、権利関係に問題点が見られない。	5		0	5	5	0	
	1-02: 掲載紙の選定、新聞広報等の企画・制作	必須		○	●掲載紙の選定、採録記事、広報等の企画・制作について具体的に提案されている。	10	●法務省が行う人権啓発広報として、よりふさわしい媒体の選定がされている。	25	35	10	25
—						●採録記事及び人権啓発広報のデザイン・レイアウトが見やすく、また人目を引きやすいものとなっている。	30	30	0	30	
—						●効果的な人権啓発にふさわしい、採録記事及び人権啓発広報と連動した別媒体における広報が提案されている。	30	30	0	30	
1-03: 効果検証のための参考情報収集調査	必須		○	●効果検証のための参考情報収集調査について、具体的に提案されている。	5	●今後の事業を検討する際に役立つ調査方法、調査項目となるよう、工夫されている。	10	15	5	10	
2. 事業実施計画											
	2-01: 事業の実施計画の妥当性、効率性	必須	○		●企画実施のスケジュールが、妥当かつ現実的である。	5	●法務省及び人権センターが余裕をもって確認作業ができるスケジュールが組まれている。	5	10	5	5
3. 事業実施体制											
	3-01: 実施体制・役割分担	必須	○		●本事業の実施体制図及び役割が事業内容と整合している。	5	●事業内容について、体制、役割分担等に対して、人員、作業手順が効率的である。	10	15	5	10
					●本事業を遂行可能な人員の確保がなされている。	5		0	5	5	0
	3-02: 事業遂行のための経営基盤・管理体制	必須	○		●本事業を実施する上で、適正な財政基盤、一般的な経理処理能力を有している。	5	—	0	5	5	0
	3-03: 情報管理体制	必須	○		●本件企画を実施するに当たり、知り得た法務行政や人権センターに関する情報、個人情報等について、適正に管理する体制がなされている。	5	—	0	5	5	0

計	200	50	150
---	-----	----	-----